

科 目	感染と生体防御				
時間数	1 単位 16 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	⑤近藤みずほ				
実務経験	⑤臨床検査技師(医療機関)				
ねらい	微生物が、自然界から宿主の体の中に生活域を移して増殖する「感染」という現象と、生体の感染防御機構について学ぶ。感染予防の実際と感染症対策についての理解を深める。				
目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物感染の機構(感染の成立から発症・治癒)を学ぶ。 2. 細菌・真菌・およびウイルスの病原因子や感染様式の特徴を学ぶ。 3. 病原体の侵入・増殖に対する生体の感染防御機構について学ぶ。 4. 感染源・感染経路の視点から、感染症とその予防について学ぶ。 5. 感染症を取り巻く現状(診断と治療の実際)と対策について学ぶ。 				
授業計画					
回	内 容				
1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物感染の機構 <ul style="list-style-type: none"> (1) 感染とは (2) 感染源と感染経路 (3) 発症と発症後の経過 				
2	<ol style="list-style-type: none"> 2. 病原因子と感染様式の特徴 <ul style="list-style-type: none"> (1) 細菌感染の機構 (2) 真菌感染の機構 (3) ウイルス感染の機構 				
3~4	<ol style="list-style-type: none"> 3. 感染防御機構—免疫— <ul style="list-style-type: none"> (1) 自然免疫 (2) 獲得免疫 (3) 粘膜免疫 				
5	<ol style="list-style-type: none"> 4. 感染源・感染経路からみた感染症と予防 <ul style="list-style-type: none"> (1) 感染源と感染経路 <ul style="list-style-type: none"> (経口感染・経気道感染・接触感染・経皮感染・母児感染) (2) 主な感染症 <ul style="list-style-type: none"> (食中毒・性感染症・動物由来感染症・人畜共通感染症・母児感染症) (3) 感染症の予防 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染防止対策 : 滅菌と消毒 ・ 感染予防の理念と実際 : 標準予防対策(スタンダードプリコーション) ・ ワクチンと予防接種 				

6～7	<p>5. 感染症の現状と対策</p> <p>(1) 感染症の診断と治療</p> <p>(2) 薬剤耐性菌と院内感染</p> <p>(3) 感染症対策</p> <p>(感染症法と感染症監視体制)</p>
8	テスト
評価方法	<p>その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。</p> <p>学科終講時に筆記試験を行い、10%以内で平常点を加味し100点満点とする。</p> <p>60点以上を及第点とする。</p>
教科書	<p>疾病の成り立ちと回復の促進(4)微生物学:医学書院</p>